

鹿角市議会 12月定例会 行政報告

- ## 主な内容
- ・地域医療を推進 シンポジウムや講演会を開催
 - ・秋田県種苗交換会 来年度本市で開催
 - ・クマ対策 引き続き有害鳥獣駆除を実施



令和5年第6回鹿角市議会定例会が12月1日から22日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要をお知らせします。
☎総務課 行政班 ☎30-0203



↑鹿角家 U25 と関係人口・鹿角家会員による鹿角家家族会議での交流



↑岩手医科大学の馬場教授による子宮頸がん予防講演会



↑鹿角の郷土料理シンポジウムにて講師の向笠氏を交えたトークセッション

■関係人口の創出

10月21日に、武蔵野大学有明キャンパスで「鹿角家U25」交流会を開催しました。交流会では、起業した方やリモートワークの普及活動をしている方による事例紹介のほか、武蔵野大学の学生による「Uターン起業研究プログラム」の成果報告が行われました。また、同日に関係人口・鹿角家会員の交流会「鹿角家家族会議」も開催し、ふるさと鹿角への愛着の醸成が図られたと考えています。

■地域医療の推進

11月5日に、岩手医科大学の寄附講座事業として、医療職を志す中高生のためのシンポジウムを開催しました。本市出身の医師をはじめ、歯科

医師、薬剤師、看護師など、実際に医療専門職として活躍されている11の職種の方を講師に迎え、医療職を目指す生徒が、直接、話を伺う貴重な機会となりました。

また、11月23日に、市民町民公開講座として「子宮頸がん予防講演会」を開催し、岩手医科大学の産婦人科学講座の馬場長教授から「子宮頸がんから守る」をテーマに、子宮頸がんの予防や最新情報について講演いただきました。そのほか、体験談や子宮頸がんを題材とした「いのちのコール」の上映も行い、子宮頸がんから身を守るためのワクチン接種や、がん検診受診の大切さについて意識を高める機会となりました。

■令和5年産米の作柄
田植え後から6月上旬までの低温や日照不足に加え、8月の高温障害により、本市を含む県北地域の作況指数が「96」の「やや不良」で、10ヶ月当たりの予想収量は530㌔と公表され、大雨被害のあった昨年と同程度です。また、令和5年産米の概算金価格は、昨年より値上がりしたものの、上がり幅は小さくなっています。一方で、燃料費をはじめとする生産コストが高止まりし、農業経営をひっ迫させていることから、国や県、関係機関と連携し、コスト削減などの支援に取り組んでいきます。

■秋田県種苗交換会
11月5日に開催されたJ A秋田中央会理事会で、来年度、本市で9年ぶりに種苗交換会が開催されることになりました。県内外から多くの来場者が訪れる農業の祭典であり、地域産業の活性化が期待される一大イベントであることから、関係団体と連携しながら地域全体で取り組んでいきます。なお、開催期間はJ A秋田中央会理事会で決定となります。

ますが、市では、1月から準備事務局を立ち上げて、万全の体制を整えます。

■クマの出没状況

11月15日までの目撃・被害通報件数は308件で、昨年10月末日と比較して184件増加しています。そのうち被害件数は78件で、昨年と比較して34件の増となり、11件の人身事故が発生しました。また、有害鳥獣駆除によるクマ捕獲頭数は167頭で、昨年より90頭増加しています。被害が発生した地域を分析しながら、効果的な駆除活動を実施していますが、今年もクマの餌となる木の実が大凶作であったため、生活圏での出没が増える異常事態となっています。

この異常出没を踏まえ、10月20日に「鹿角市ツキノワグマ緊急対策本部」を立ち上げ、情報共有や被害防止対策を協議し、10月24日に、クマ対策に関する臨時広報を全戸配布しました。また、今年も親子での目撃が多く、暖冬が予測されることから、今後もクマの出没による被害が懸念されています。

このことから、10月26日に県や警察署、猟友会などの関係機関で組織する鹿角市鳥獣被害防止対策協議会において、猟期に入った後も有害鳥獣駆除を適切に継続していくことを申し合わせています。クマの目撃情報や人身事故などの被害状況から、依然として多くのクマの生息が推測されますので、今後も重点的に有害鳥獣駆除を実施していきます。

■市有林の森林認証取得に向けた取り組み

8月と10月に、世界的な森林認証機関であるSGSジャパン株式会社により、本市の持続可能な森林づくりなどの森林経営方針や、森林施策を通じた地球温暖化の防止、水士保全、生物多様性の保全に努めるなどの環境方針に基づいた森林管理経営の取り組みのほか、林業労働安全や森林の健全性と活力に影響する森林病害虫、獣害、山火事などへの対応について調査が行われました。その結果、本市の取り組みが評価され、11月8日にSGSジャパン株式会社から認証を受け、市有林の

777・11が森林認証に登録されました。

今後は、包括連携協定を締結している東京都葛飾区の公共施設に、鹿角産材を活用する予定としており、市有林から森林認証による木材を供給し、実績を高めることで、森林認証の効果波及させていきます。

■JR花輪線

鹿角花輪駅が11月10日に開業100周年を迎えたことを記念して、翌11日に鹿角花輪駅で、花輪ばやしの実演による歓迎イベントを実施しました。また、限定版の「駅カード」を作成し、3月10日まで、花輪線の乗車券提示と引き換えに配布しています。引き続き、花輪線利用促進協議会を通じて関係機関と連携し、花輪線のPRと利用促進につながる事業を展開していきます。

■鹿角の郷土料理シンポジウム

11月25日に「鹿角の郷土料理シンポジウム」を開催し、本市の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・文化などによって育まれた、きりたんぼ、けいらん、鹿角ホルモンを中

心に、トークセッションや試食会を実施しました。今年度は「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから10周年の記念の年であり、全国各地で、あらためて伝統的な食文化を未来に伝える機運が高まっています。本市でも、この機会を捉えて「食」の魅力を発信していくことで、観光誘客につなげたいと考えています。

■まちなかオフィス

情報サービスなどの企業誘致を促進するため、入居者を募集していたコネクトオフィス2部屋については、鹿角産品をメインにした販路拡大ビジネスを行う企業と、イベント企画と各種コンサルティングを行う企業が、11月から入居しています。今後も企業誘致、本市の新産業の発展に努めます。

■温暖化防止の意識醸成

企業や団体へ脱炭素行動を促しCO2排出量の見える化を推進するため、10月に「脱炭素行動事業者認定制度」を創設しました。省資源、省エネ活動、再エネ導入など脱炭

素に取り組む企業などを認定し、市のホームページで公表するほか、優れた取り組みを行っている事業者を紹介することで市民や企業などの機運と意識を醸成しながら、官民一体となってカーボンニュートラルを推進していきます。

■市道除雪

11月17日に、受託業者をはじめ関係者による除雪会議を開催し、除雪計画に基づく態勢を整えました。今期は、昨年の大雨災害で被災した市道の復旧に伴う除雪路線の見直しなどにより、市道に農道などを加えた約556㌔について、除雪機械110台で作業を実施する体制とし、冬期間における安全・安心な道路交通の確保に努めていきます。

■第97回全日本学生スキー選手権大会

2月16日から19日までの日程で、花輪スキー場で開催予定です。新型コロナウイルス感染症の5類移行後の最初の大会となりますが、引き続き選手・役員が安心して大会に挑めるよう、万全の体制で準備を進めていきます。